

# 1. 教育理念・目的・目標

## 教育理念

建学の理念を基本として、大学院の教育理念を以下のように定める。

生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合を図る教育を推進し、人間性豊かな高度専門職業人の養成ならびに独創的な研究活動を通して、社会の発展と人類の幸福に寄与することを北海道医療大学大学院の教育理念とする。

## 教育目的

北海道医療大学大学院の教育理念に沿って、高度な専門知識・技術の修得に加え、保健・医療・福祉分野の横断的な知識および豊かな人間性を有した高度専門職業人の養成と最先端の研究活動を通じて、社会の発展、人類の幸福に寄与できる教育・研究者の養成を本大学院の教育目的とする。

## 教育目標

北海道医療大学大学院の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。

1. 豊かな学識と人格の養成
2. 高度な専門知識および学術の修得
3. 独創的な研究および研究能力の開発
4. 社会の要請に的確に対応できる教育・研究の推進

なお、上記の北海道医療大学大学院の教育理念・教育目的・教育目標に沿って、各研究科専攻（課程）の教育理念・教育目的・教育目標が定められています。

## 看護福祉学研究科看護学専攻（修士課程）

### 教育理念

本大学院の教育理念を基本として、看護と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、看護の高度専門職業人を養成することにより、社会の発展ならびに人々の健康の向上に貢献することを看護福祉学研究科看護学専攻（修士課程）の教育理念とする。

### 教育目的

看護福祉学研究科看護学専攻（修士課程）の教育理念に沿って、人々の健康と福祉の向上のために、高度専門職業人として看護領域の実践に寄与する人材、ならびに研究者としての基礎的能力を備えた人材の養成を本専攻の教育目的とする。

### 教育目標

看護福祉学研究科看護学専攻（修士課程）の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。

1. 深い学識および高い倫理観を備えた人材の養成
2. 看護学における高度な専門知識と技術を備え、学術を継続的に探求できる人材の養成
3. 看護の質向上に寄与する自律的・創造的実践力を備えた人材の養成
4. 社会の発展ならびに人々の健康の向上に貢献する看護教育・研究を推進できる人材の養成
5. 地域および国際社会における保健・医療・福祉の課題に対応し、看護専門職としてリーダーシップを発揮できる人材の養成

## 看護福祉学研究科看護学専攻（博士課程）

### 教育理念

本大学院の教育理念を基本として、看護と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、自立した研究者として看護学の固有性を追求し、開拓的な研究活動ができる人材を養成することにより、社会の発展ならびに人々の健康の向上に貢献することを看護福祉学研究科看護学専攻（博士課程）の教育理念とする。

### 教育目的

看護福祉学研究科看護学専攻（博士課程）の教育理念に沿って、看護学における高度な学識および独創的な研究を開拓・推進し、保健・医療・福祉分野において社会実装や政策提言、学際的研究に指導的立場で関与できる人材の養成を本専攻の教育目的とする。

### 教育目標

看護福祉学研究科看護学専攻（博士課程）の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。

1. 高度な学識および高い倫理観・責任感を備えた人材の養成
2. 看護における高度な専門知識と研究能力を備え、自立した研究者として研究分野を開拓・推進し、新たな価値を創造できる人材の養成
3. 時代や社会の変化に対応できる研究を開発・推進し、学際的研究に指導的立場で関与できる人材の養成

## 看護福祉学研究科臨床福祉学専攻（修士課程）

### 教育理念

本大学院の教育理念を基本として、看護と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、福祉の高度専門職業人を養成することにより、社会の発展ならびに人々の福祉の向上に貢献することを看護福祉学研究科臨床福祉学専攻（修士課程）の教育理念とする。

### 教育目的

看護福祉学研究科臨床福祉学専攻（修士課程）の教育理念に沿って、人々の健康と福祉の向上のために、高度専門職業人として福祉領域の実践に寄与する人材、ならびに研究者としての基礎的能力を備えた人材の養成を本専攻の教育目的とする。

### 教育目標

看護福祉学研究科臨床福祉学専攻（修士課程）の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。

1. 深い学識および高い倫理観を備えた人材の養成
2. 福祉における高度な専門知識と技術を備え、学術を継続的に探求できる人材の養成
3. 福祉の質向上に寄与する自律的・創造的実践力を備えた人材の養成
4. 社会の発展ならびに人々の福祉の向上に貢献する福祉教育・研究を推進できる人材の養成
5. 地域および国際社会における保健・医療・福祉の課題に対応し、福祉専門職としてリーダーシップを発揮できる人材の養成

## 看護福祉学研究科臨床福祉学専攻（博士課程）

### 教育理念

本大学院の教育理念を基本として、看護と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、自立した研究者として臨床福祉学の固有性を追求し、開拓的な研究活動ができる人材を養成することにより、社会の発展ならびに人々の福祉の向上に貢献することを看護福祉学研究科臨床福祉学専攻（博士課程）の教育理念とする。

### 教育目的

看護福祉学研究科臨床福祉学専攻（博士課程）の教育理念に沿って、福祉における高度な学識および独創的な研究を開拓・推進し、保健・医療・福祉分野において社会実装や政策提言、学際的研究に指導的立場で関与できる人材の養成を本専攻の教育目的とする。

### 教育目標

看護福祉学研究科臨床福祉学専攻（博士課程）の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。

1. 高度な学識および高い倫理観・責任感を備えた人材の養成
2. 福祉における高度な専門知識と研究能力を備え、自立した研究者として研究分野を開拓・推進し、新たな価値を創造できる人材の養成
3. 時代や社会の変化に対応できる研究を開発・推進し、学際的研究に指導的立場で関与できる人材の養成